

京都府立井手やまぶき支援学校

教育後援会 会報 3月



会長挨拶

3月を迎え、春の訪れを感じる季節になりました。3月6日、このよき日に井手やまぶき支援学校から15名の高等部の3年生が卒業していきました。そして3月11日には、11名の小学部6年生、17名の中学部3年生が卒業していきます。高等部の卒業生は、4月から社会に出ていきます。それぞれの進路先での活躍を大いに期待しております。小学部、中学部の卒業生も引き続き井手やまぶき支援学校で学ぶ児童生徒、別の学校に進学する児童生徒等進む道はちがいますが、それぞれの場で自分の力を出し切ってくれることを願います。この1年、井手やまぶき支援学校を訪問して、子ども達の学ぶ様子を参観させていただきました。子ども達の生き生き学ぶ姿、にこっと微笑む姿にいつも感動し元気をもらっています。教育後援会も、団体会員19団体、個人会員20名、PTAから47名、教員から27名が加盟し会費として541,000円を徴収させていただき、図書の実や、教育活動支援に活用させていただいております。次年度もさらに教育後援会を盛り上げていきたいと考えております。変わらずの支援をよろしく願いいたします。会長 株式会社ヒロミツ製作所 代表取締役社長 有友廣充



第2回 二十歳を祝う会

1月17日に、井手やまぶき支援学校教育後援会主催の「二十歳を祝う会」を行いました。令和5年度卒業の8名の卒業生が出席しました。教育後援会の役員、教職員、保護者の大きな拍手で入場した卒業生の皆さんの姿は、一段と凛々しいものでした。在学時の懐かしいスライドを見てから、一人一人が、在学時の思い出や近況の報告そしてこれからの目標を述べました。お祝いセレモニーでは、在学時のやまぶき祭での発表をもう一度行い会場は大いに盛り上がりました。その後、テーブルごとに当時お世話になった先生や保護者と楽しく会話しました。まだまだ話が尽きない中でしたが、みなさんの感動の中「二十歳を祝う会」を終えることができました。



お知らせ

二十歳を祝う会に先立ち、1月17日に、第2回教育後援会役員会を実施しました。この会議で、今年度の事業報告や予算の執行状況を確認しました。令和8年度も会員数のさらなる増加に努め、今年度の事業を引き継ぎ、よりいっそう活動を盛り上げ、子ども達の笑顔を増やしていこうという思いが共有されました。その後、教育後援会会長から次年度の体制について確認があり、令和8年度も引き続き現役員が続投することになりました。変わらずの御支援よろしく願いいたします。